

# 地方創生事業評価シート

	担当課名	経済産業課	事業No.	2
事業名	とくしま新未来産業のブランド創出とグローバル展開戦略			
目的	徳島県・徳島市と連携し、世界に誇る二つの青色「LED」と「阿波藍」を活用した新たなツーリズムの創出に向けたイベント開催や「ジャパンプルー・徳島」のプロモーション等に取り組む。			
実施内容	藍染め普及支援として次の事業を実施。【地方創生推進交付金事業】 1) 藍の館を活用した藍染め製品作りワークショップ 2) 藍染ファッションショー「インディゴコレクション2018」 3) 藍染め製品でサービスが受けられる「“藍” deグルメ」			
重要業績評価指標 (KPI)	指標	藍の館の年間入込客数		
	目標	35,000人 (H31) ← 26,596人 (H26)		
	実績	31,264人 (H30)		
達成度	A : 達成 <b>B</b> : 概ね達成      C : 未達成			

## 【事業費と財源内訳】

(単位：円)

平成30年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	5,776,000	5,741,558	2,870,779	事業費の1/2

## 【平成30年度の取組と課題】

1) 県内で活躍するハンドメイド作家による藍を使ったワークショップを開催。昨年度後半から参加者が固定化してきたため、8月以降はゆめタウン徳島に場所を移し、藍の館のPRとともに毎月1回開催している。

2) 藍染め衣装のファッションショー「インディゴコレクション2018」を10/21に開催。お手製の藍染め衣装に身を包み、71人が出演した。また、今回はゆめタウン徳島と連携し、子どもがメインの「インディゴプチコレクション2018」も7/22に開催、10月の開催に向けた子ども部門の予選会を兼ねたイベントとなった。

3) 藍を日常に取り入れることを促進するイベントとして「“藍” deグルメ」を実施。7/17～31に藍染め製品を身につけて協力店舗で食事等をすると特典が受けられるもの。24店舗の協力が得られ、同時に藍の日（7/24）のPRにもつながった。

平成30年度中、災害の影響で藍の館内の工事期間があったため、昨年と比べて入込客数は減少となった。藍の館入込客数増加には展示内容等の見直しも行う必要があると考える。

## 【今後の取組】

1)～3)いずれも交付金がなくても継続できるような仕組みづくりを検討していく。  
 藍の館の展示内容等の見直しを進める。  
 その他、阿波藍製造復活の推進等、藍を使ったまちづくりに取り組んでいく。

## ※藍住町地方創生推進会議の意見

- ファッションショー予選やワークショップを商業施設で開催することで、以前より参加者が増えていると感じるので、藍の魅力発信につながっていると思う。
- ファッションショーに高齢者部門を設けてもよいのでは。
- “藍” deグルメは、行政と民間事業者の協力で町を挙げて取り組んでいる雰囲気が良い。
- “藍” deグルメの参加者を増やすため、いっそうPRすべき。メディアの活用。
- 地域おこし協力隊の取組と連携し、より本物志向のイベントを実施してもよいと思う。